



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 ギークス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7060 URL https://geechs.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根原稔人
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 佐久間大輔 (TEL) 03-6690-6928
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	699	△42.4	124	△54.5	108	△61.0	60	△66.3
2020年3月期第1四半期	1,214	—	274	—	276	—	178	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 60百万円(△65.2%) 2020年3月期第1四半期 173百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.78	5.67
2020年3月期第1四半期	17.45	16.86

注) 1. 2019年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,946	3,419	69.1
2020年3月期	4,700	3,356	71.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 3,418百万円 2020年3月期 3,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	1,300	△34.3	150	△63.8	130	△68.7	70	△73.8
通期	4,200	18.5	600	△12.3	580	△14.1	340	△13.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	10,477,960株	2020年3月期	10,462,960株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	40,000株	2020年3月期	40,000株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	10,432,939株	2020年3月期1Q	10,248,764株
------------	-------------	------------	-------------

当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当社グループはグランドビジョンに「21世紀で最も感動を与えた会社になる」を掲げ、ITフリーランスのデータベース、グローバルで活躍するITエンジニア育成など人材インフラを活かし、インターネットの普及によりめまぐるしく変化する人々の生活や企業の行動を積極的に捉え、変化対応力を強みに、提供サービスの創造・進化を通じて常に成長し続けることで、永続的な企業価値向上を目指しております。当社グループは子会社2社を含む全4事業で構成されており、各事業セグメントは「IT人材事業」、「IT人材育成事業」、「ゲーム事業」、「x-Tech事業」の4つに分類されております。

なお、当第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、従来の報告セグメント「動画事業」「インターネット事業」から、セグメント統合し「x-Tech事業」に変更しております。前年同四半期累計期間との比較分析については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の全世界的拡大の影響により大幅に悪化しており、極めて厳しい状況が続いております。日本経済においても、同影響による企業収益の急速な悪化がみられ、先行きは不透明さを増しております。

一方で、企業における働き方改革の推進など、雇用や労働環境の在り方自体が大きく変化するなか、デジタルシフトを進める企業と、新しい働き方を模索する個人が直面する課題に対して、当社グループが果たすべき役割はより重要になるものと認識しております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は699,635千円（前年同期比42.4%減）、営業利益は124,815千円（同54.5%減）、経常利益は108,085千円（同61.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60,269千円（同66.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

<IT人材事業>

IT人材事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が依然として不透明な状況であることから、エンジニア集客にかかる費用を抑制するなど、慎重にコストコントロールを進めてまいりました。その中で、既存のITフリーランスとの繋がりをより強固にするサポート体制の構築に注力し、また、デジタルシフトを進める企業のニーズに応えるべく、IT人材活用についてのオンライン説明会等を実施してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は358,286千円（前年同期比14.7%増）、セグメント利益は204,826千円（同29.6%増）となりました。

<IT人材育成事業>

IT人材育成事業におきましては、合宿型でプログラミングと英語を学ぶことができる「IT留学」が大きな特徴となっております。また、新たな収益の柱とすべくオフショア開発のサービスにも注力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は35,424千円（前年同期比26.6%減）、セグメント損失は2,938千円（前年同期はセグメント損失11,016千円）となりました。

<ゲーム事業>

ゲーム事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり消費の需要もあり、比較的堅調に推移いたしました。このような環境下、株式会社バンダイナムコオンラインから受託開発した「アイドリッシュセブン」をはじめとした4本のタイトルの運営と、新規タイトルの開発を4本行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は256,174千円（前年同期比68.2%減）、セグメント利益は14,298千円（同93.3%減）となりました。

<x-Tech事業>

x-Tech事業におきましては、VR（仮想現実）・AR（拡張現実）・MR（複合現実）、3Dホログラムなど最新の技術を活用した動画コンテンツの制作、また、ゴルフメディア「Gridge」の運営や、ゴルフをはじめとしたスポーツ領域で企業のIT化支援を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は52,493千円（前年同期比0.9%減）、セグメント損失は8,040千円（前年同期はセグメント損失7,648千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は前連結会計年度末と比較して204,950千円増加し、4,486,159千円となりました。これは主に仕掛品が262,571千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は前連結会計年度末と比較して41,374千円増加し、460,474千円となりました。これは主に繰延税金資産が36,921千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は前連結会計年度末と比較して184,518千円増加し、1,469,875千円となりました。これは主に前受金が220,218千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は前連結会計年度末と比較して1,031千円減少し、57,687千円となりました。これは主にリース債務が1,071千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は前連結会計年度末と比較して62,838千円増加し、3,419,071千円となりました。これは主に利益剰余金が60,269千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月21日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更しております。詳細につきましては、2020年8月7日発表の「2021年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,559,268	2,579,868
売掛金	1,280,365	1,156,558
商品	66	66
仕掛品	364,943	627,514
貯蔵品	423	612
前渡金	927	915
前払費用	65,295	99,845
その他	18,888	27,028
貸倒引当金	△8,970	△6,249
流動資産合計	4,281,208	4,486,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	113,344	101,473
工具、器具及び備品（純額）	14,131	12,387
有形固定資産合計	127,475	113,861
無形固定資産		
ソフトウェア	584	498
無形固定資産合計	584	498
投資その他の資産		
投資有価証券	30,080	30,080
敷金及び保証金	221,794	221,263
長期前払費用	1,774	20,460
繰延税金資産	37,390	74,311
投資その他の資産合計	291,040	346,115
固定資産合計	419,100	460,474
資産合計	4,700,309	4,946,634

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	811,911	763,706
未払金	33,113	28,506
未払費用	28,130	31,313
未払法人税等	90,533	90,672
未払消費税等	39,145	46,944
預り金	27,914	31,036
前受金	203,471	423,690
前受収益	25,734	33,131
資産除去債務	12,248	12,264
リース債務	13,152	8,608
流動負債合計	1,285,357	1,469,875
固定負債		
リース債務	3,214	2,143
資産除去債務	55,504	55,543
固定負債合計	58,719	57,687
負債合計	1,344,076	1,527,563
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,086,015	1,087,236
資本剰余金	1,035,958	1,037,179
利益剰余金	1,256,587	1,316,856
自己株式	△21,000	△21,040
株主資本合計	3,357,560	3,420,231
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,495	△1,258
その他の包括利益累計額合計	△1,495	△1,258
非支配株主持分	167	98
純資産合計	3,356,232	3,419,071
負債純資産合計	4,700,309	4,946,634

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,214,915	699,635
売上原価	608,981	229,599
売上総利益	605,933	470,035
販売費及び一般管理費	331,806	345,220
営業利益	274,126	124,815
営業外収益		
受取利息	13	17
コンテンツ著作権譲渡益	4,500	-
講演料収入	-	100
営業外収益合計	4,513	117
営業外費用		
支払利息	176	-
為替差損	152	787
株式交付費	1,435	15
市場変更費用	-	15,859
コミットメントフィー	-	184
営業外費用合計	1,764	16,847
経常利益	276,875	108,085
税金等調整前四半期純利益	276,875	108,085
法人税、住民税及び事業税	20,655	84,841
法人税等調整額	77,453	△36,955
法人税等合計	98,109	47,886
四半期純利益	178,766	60,198
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△114	△70
親会社株主に帰属する四半期純利益	178,881	60,269

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	178,766	60,198
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,867	237
その他の包括利益合計	△4,867	237
四半期包括利益	173,899	60,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174,042	60,505
非支配株主に係る四半期包括利益	△143	△69

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当第1四半期連結累計期間において、本社オフィスの一部を解約することを決定したため、解約後利用見込みのない固定資産について耐用年数の見直しを行いました。また、本社オフィスの不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務の使用見込期間の変更を行いました。これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10,242千円減少しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 (注2)
	IT人材 事業	IT人材育成事 業	ゲーム 事業	x-Tech 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	312,274	43,457	806,221	52,961	1,214,915	-	1,214,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	4,777	-	-	4,777	△4,777	-
計	312,274	48,235	806,221	52,961	1,219,692	△4,777	1,214,915
セグメント利益 又は損失(△)	158,097	△11,016	214,962	△7,648	354,394	△80,267	274,126

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△80,267千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△91,691千円及びセグメント間消去取引11,423千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 (注2)
	IT人材 事業	IT人材育成事 業	ゲーム 事業	x-Tech 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	358,286	32,680	256,174	52,493	699,635	-	699,635
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	2,744	-	-	2,744	△2,744	-
計	358,286	35,424	256,174	52,493	702,379	△2,744	699,635
セグメント利益 又は損失(△)	204,826	△2,938	14,298	△8,040	208,146	△83,331	124,815

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△83,331千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△86,587千円及びセグメント間消去取引3,256千円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、社内組織の変更に伴い、従来の「動画事業」と「インターネット事業」を統合して新たに「x-Tech事業」に区分しております。